

自然から生まれたものを自然にかえす。 私たちが目指しているのは自然に優しい循環型社会です。

動植物性残さ・汚泥・廃酸・廃アルカリ・廃油・堆肥化フロー

食品廃棄物の臭気を少なく、比較的簡単に、できるだけ短時間で堆肥化することができます。

材
料

- 動植物性残さ
- 食品汚泥
- 廃酸・廃アルカリ・廃油
- その他の有機化合物



動植物性残さ



- 完熟堆肥
- 炭素率・水分調整剤(もみから)
- アガリ工菌(好気性発酵菌)

わが社は、長崎県大村市東部の、自然と山々に囲まれた場所にあります。広大な敷地面積は10,000坪あり、安全な環境の中で、「地球に優しい環境づくりを」をモットーに、工場等から出る、食品廃棄物をリサイクルし、堆肥に変えています。この堆肥を、農家の方々に利用していただき、より良い、農作物を育てることに役立てていただいています。わが社は、農家の方々と共に、これまでごみとして捨てられてきた食品廃棄物を減らし、美しい環境づくりに取り組んでいます。

細断

固まりがある材料は、小さく細断することから始まります。



※わが社では**し尿汚泥・重金属汚泥**は一切取り扱っておりません。

混合

タイヤシャベルを使って材料を混合します。



炭素率・水分調整

材料を手で握り締め、指の間から水が染み出す、かつ材料が固まらない程度に水分を調整します。炭素率・水分調整剤の量を調節し、含水率を56~60%にします。

発酵

- 一次発酵 ● 二次発酵
 - 三次発酵 ● 四次発酵
- 4度の発酵の間に、「切り返し」を行います。

切り返し
仕込み後1~2日後には堆積物の中心は60℃以上の温度を示し、温度が下がり始めたときに1回目の切り返しを行います。(一次発酵)
切り返し後、再び堆積物内部の温度が上昇したら、同じ要領で切り返しを繰り返します。



臭気検査
発酵の間に臭気検査を行います。



熟成

発酵を終えた堆肥を熟成させます。発酵が終了すると、堆積物内部と外気温の差がなくなります。また、悪臭がなくなります。



判定

発酵を終えた堆肥に**温度上昇はないか、悪臭はないか**、をチェックします。年に一度、食品検査センターによる重金属等の検査を行っています。



出荷

自信を持って農家の方々に出荷します。
廃棄物の搬入から出荷までの期間は約30日間です。



我が社の堆肥を利用して栽培している農作物です。

アスパラ・トマト等の野菜農家・お茶農家・果樹農家の方々に土壌改良剤として利用して頂いています。

